令和７年度 森林管理局等事業統計書作成に係る職員向け解説書整備事業
仕様書

１　事業の目的

森林管理局事業統計及び国有林野事業統計（以下「事業統計書」という。）は、「国有林野管理経営規程」（平成 11 年１月 21 日農林水産省訓令第２号）等に基づき、森林管理局長及び林野庁長官が毎年度作成しているものである。事業統計書においては、都道府県及び森林管理局別に、国有林野の現況及び事業（地域振興、収穫、販売及び製品生産、造林、治山、林道及び貯木場、被害等）の進行状況を明らかにしている。

事業統計書は 39 帳票を有しており、うち 25 帳票については、その全て、もしくは一部の項目を、国有林野情報管理システム（国有林野事業の予定・実行管理、統計作成、森林情報のデータ機能等を有する基幹システム。以下「システム」という。）よりデータを出力し、反映させている。

しかしながら、その際のデータの抽出・集計方法については明確に定めたマニュアル等が存在しないことから、国有林野職員（以下「職員」という。）がデータの確認や照合作業を行う際に苦慮している実態にある。

このような状況を踏まえ、本事業は、職員が事業統計書を作成する上で、効率良く正確な確認作業を行うことが可能となるよう、集計の考え方や確認方法について定めた解説書を作成するものである。

２　事業概要

本事業は、システムにより事業統計書を作成（アウトプット）する上で、その集計の元となるデータ（インプット）の整理や集計方法（プロセス）を明確化することにより、職員が効率よく正確な確認、突合作業が行えるよう、職員向けの解説書（以下「解説書」という。）を作成する。

３　事業内容

（１）事業統計書作成に係る設計書（詳細版）の作成

事業統計書の 39 帳票（別紙１－１）のうち、システムよりデータを出力している 25 帳票（別紙１－２）については、統計データの出力元であるシステムのソースコード（Java）から、集計条件や編集内容等の項目を抽出した「設計書（中間ファイル）」（一部抜粋：別紙２－１、２－２）を整備しているところ。

しかしながら、既存の設計書（中間ファイル）は、ソースコードの条件分岐等が明確なドキュメントとして整理されておらず、ソースコードと設計資料との整合性が把握し難い状況にあることから、解説書の作成に向けた前提条件として、以下のとおり設計書（中間ファイル）の記載内容の整理を行うとともに、情報追加を行い、事業統計書作成に係る設計書（詳細版）を作成すること。

ア　設計書（中間ファイル）の記載内容の整理

上記の 25 帳票の設計資料において、それぞれの項目単位ごとに解釈や集計条件等を分かりやすく体系的に理解できるよう、以下のとおり設計書（中間ファイル）の記載内容の整理を行うこと。

（ア）照合するデータ（実行総括表等）がシステム上にある帳票（11 帳票）の設計書（中間ファイル）（一部抜粋：別紙２－１）については、整合性の確認を行い、記載の改善、見直しを行うこと。

（イ）照合するデータ（実行総括表等）がシステム上にないと整理されている帳票（14 帳票）の設計書（中間ファイル）（一部抜粋：別紙２－２）については、ソースコードから記載内容の詳細化を行うこと。

イ　事業統計書作成に係る設計書（詳細版）の作成

上記アで整理した設計書（中間ファイル）に対して以下の情報追加を行い、事業統計書作成に係る設計書（詳細版）を作成することとし、以下の項目については抜けなく記載すること（イメージ図：図１参照）。なお、情報追加にあたって記載内容が同じ箇所が続くような場合は、同じ内容を羅列するのではなく、記載内容が同じであることが分かるような記載とすることができる（例：同上、〇〇箇所と同じ）。

（ア）ソースコードの言語化を行うこと。言語化は、端的に誰にでも分かる表現とすること。ただし、表現に幅がある場合は、その表現の補足説明を記載すること。
（イ）抽出条件の条件フロー図を記載すること。
（ウ）照合するデータ（実行総括表等）とシステムの入力画面を記載すること。ただし、照合するデータ（実行総括表等）がシステム上にないと整理されている帳票（14 帳票）については、上記ア（イ）の作業を踏まえ、照合可能なデータ（施業実施計画付属資料等）の掘り起こし作業を行い、その結果、照合可能なデータがないと判断された場合は、照合するデータと入力画面の記載については作業対象外とする。

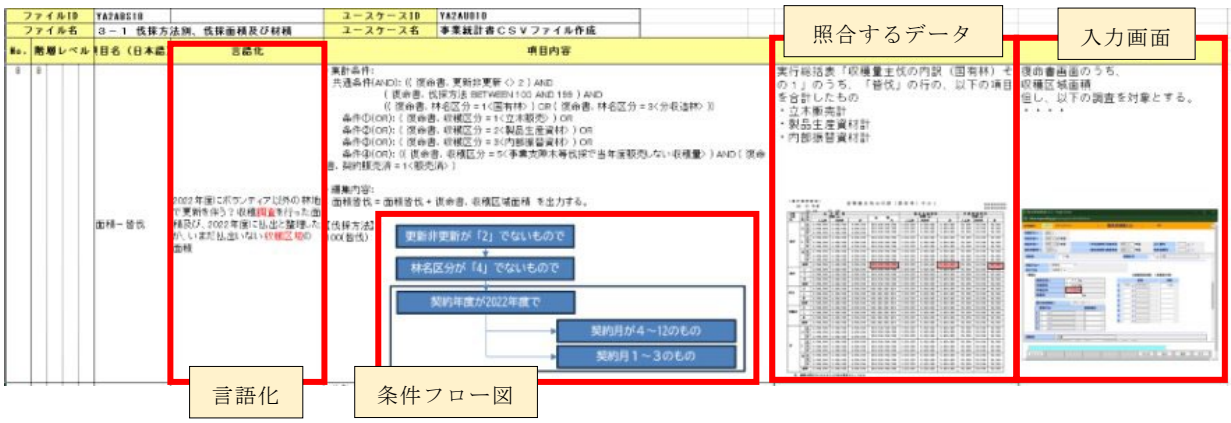


図１　事業統計書作成に係る設計書（詳細版）のイメージ図（※赤枠部分を情報追加）

（２）解説書等の作成

上記（１）で作成した事業統計書作成に係る設計書（詳細版）を元に、以下の情報を整理した解説書等（25 帳票）を作成すること。解説書等については、既存の実務マニュアル（15 章_YA2_事業統計）の付録４として整備すること。

ア　全体俯瞰図の作成

事業統計書の帳票ごとに、データの集計パターンを整理した処理概要と集計パターン別俯瞰図から構成される全体俯瞰図を作成すること（イメージ図：別紙３－１～３－４参照）。集計パターン別俯瞰図には、インプットとなるデータソースとアウトプットとなる帳票、それらを繋げるプロセス（データの結合条件や集計方法等）について記載し、システムからのデータの流れが体系的に分かるような内容とすること。文言については、職員が理解しやすく分かりやすい記載とすること。

イ　解説書の作成

事業統計書の帳票ごとに、各項目の集計方法等を整理した解説書を作成すること。当該解説書については、事業統計書作成に係る設計書（詳細版）から言語化、照合するデータ、入力画面を抜粋するなど、平易な言葉で、画像や図表を用いて、職員が理解しやすく見やすいものとし、以下の項目については抜けなく記載すること（イメージ図：図２－１、図２－２参照）。

（ア）各項目の説明、集計方法

（イ）照合するデータ（実行総括表等）

照合するデータ（実行総括表等）がシステム上にない帳票については、本事業の担当部署（林野庁国有林野部経営企画課事務管理班。以下「事務管理班」という。）が整備した資料を事務管理班の指示に従い活用してもらう場合がある。

帳票4-1　素材の生産及び販売

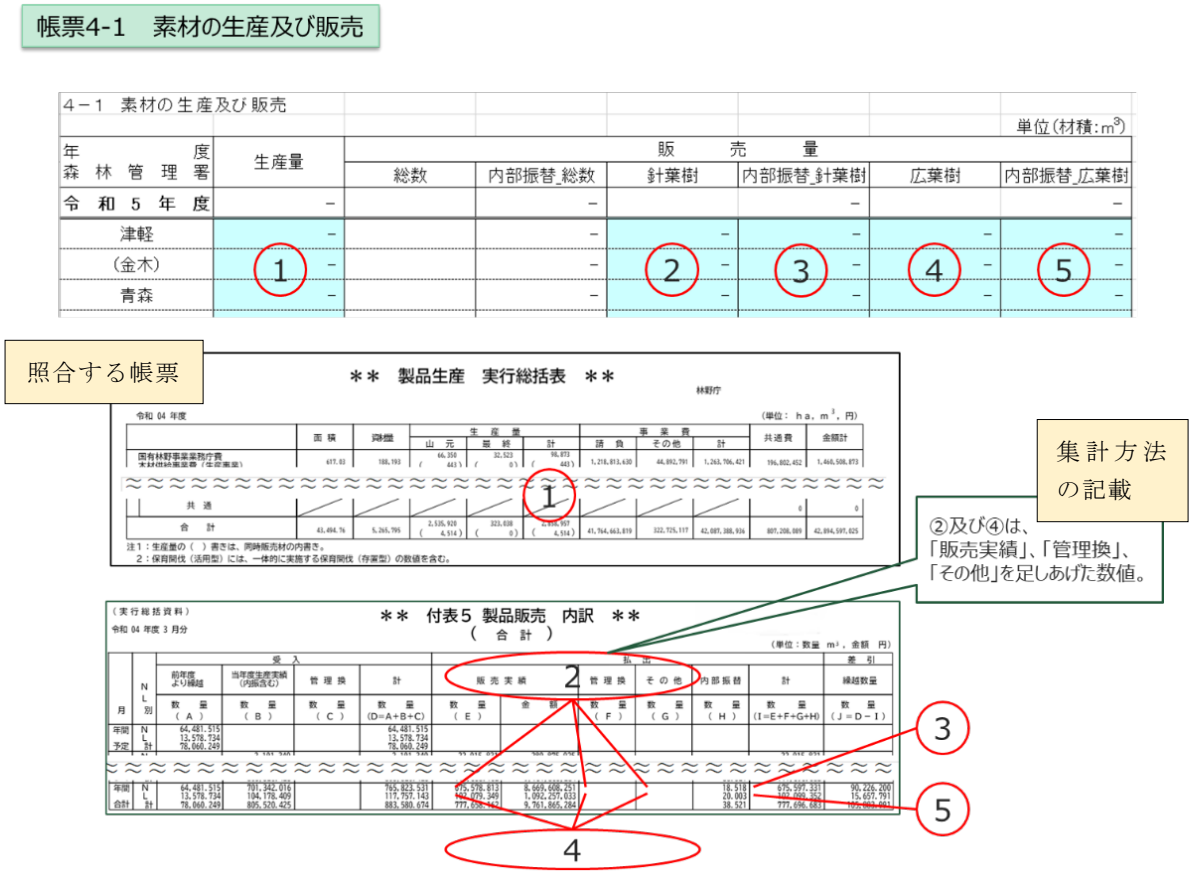


図２－１　解説書のイメージ図１

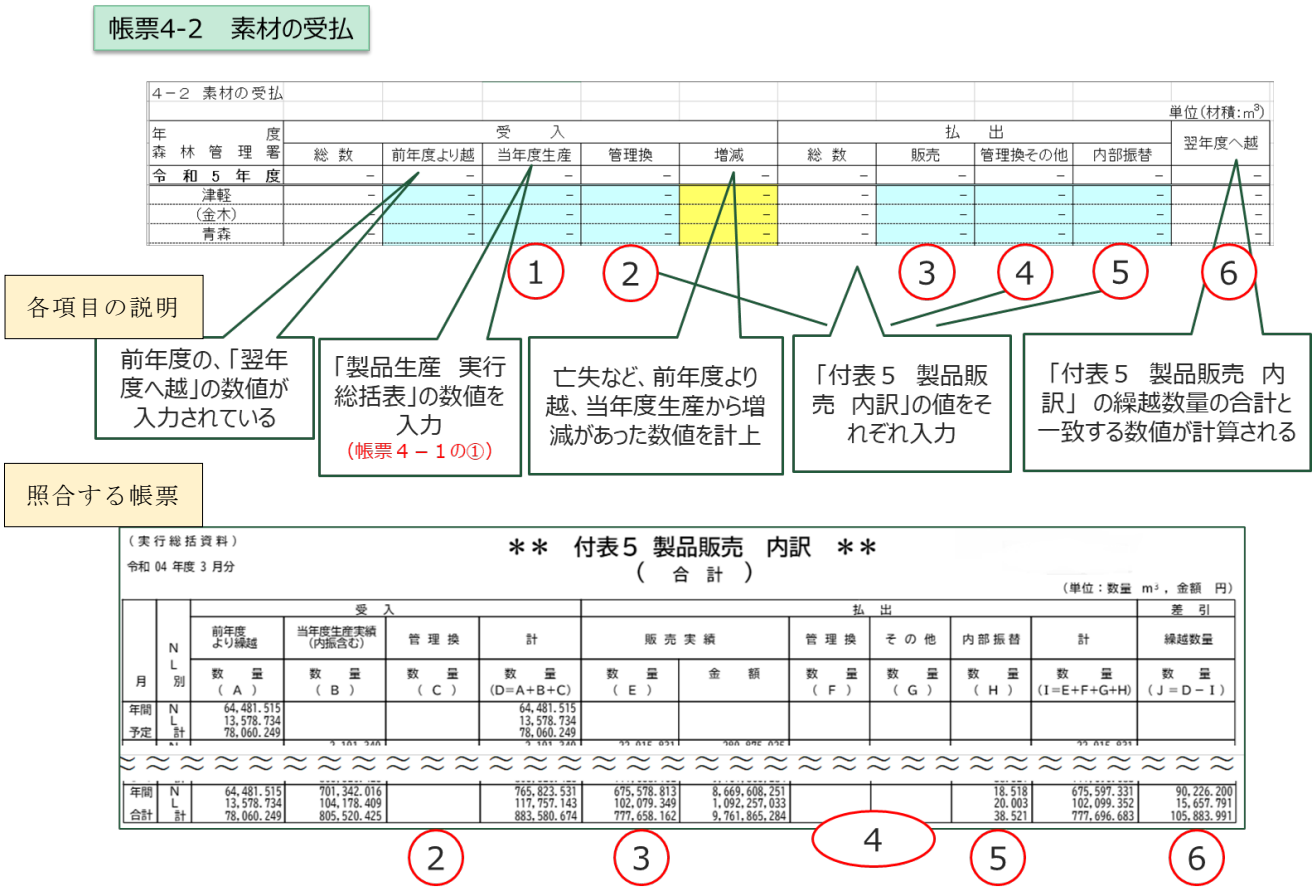


図２－２　解説書のイメージ図２

4　事業期間

契約締結日から令和８年３月 13 日まで

想定作業スケジュールは以下のとおり。

	令和７年									令和８年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業計画書の提出		→										
事業統計書作成に係る設計書（詳細版）の作成			→	→	→	→						
解説書等の作成							→	→	→	→	→	→

5　事業計画書の提出

受注者は、本事業を行うに当たって、事業概要、事業工程表、事業実施体制図、納品仕様、作業手順等を示した事業計画書を事務管理班と協議の上、契約締結後 10 日以内（行政機関の休日（行政機関の休日に関する法律（行和 63 年法律第 91 号）第１条第１項各号に掲げる日をいう。）を除く。）に作成して提出し、同 10 日以内に事務管理班の承認を得ること。

6　貸与物品

本事業の実施に必要な以下の物件を貸与する。貸与を受けた物件は、適切な管理を

行い、本事業の完了時に返却すること。
（１）実務マニュアル（15 章_YA2_事業統計）
（２）現行の事業統計書作成に係るシステム設計書（中間ファイル）一式
（３）その他業務の実施に必要な資料

7　成果物

（１）成果物名

番号	成果物名	提出方法	記載場所	納入期限
1	事業計画書	電子媒体で提出	5　事業計画書の提出	契約締結後、10 開庁日以内
2	議事録	電子媒体で提出	15　その他（１）	打合せ実施後、10 開庁日以内
3	事業統計書作成に係る設計書（詳細版）	電子媒体で提出	３（１）事業統計書作成に係る設計書（詳細版）の作成	令和８年３月 13 日
4	全体俯瞰図(処理概要･集計パターン別俯瞰図)	電子媒体で提出	３（２）ア全体俯瞰図の作成	令和８年３月 13 日
5	解説書	紙及び電子媒体で提出	３（２）イ解説書の作成	令和８年３月 13 日

（２）成果物の納入方法

ア　成果物は、全て日本語で作成すること。ただし、日本国内においても英字で表記されることが一般的な文言については、そのまま記載しても構わないものとする。
イ　用字・用語・記述符号の表記については、「「公用文作成の考え方」の周知について（令和４年１月 11 日内閣文第１号内閣官房長官通知)」を参考にすること。
ウ　情報処理に関する用語の表記については、日本産業規格（JIS）の規定を参考にすること。
エ　成果物は紙媒体及び電磁的記録媒体により作成し、事務管理班から特別に示す場合を除き、原則紙媒体は正１部・副１部、電磁的記録媒体は２部を納品すること。
オ　紙媒体による納品について、用紙のサイズは、原則として日本産業規格 A 列４番とするが、必要に応じて日本産業規格 A 列３番を使用すること。
カ　電磁的記録媒体の納品について、Microsoft Office 及び PDF のファイル形式の双方で作成すること。
キ　納品後、事務管理班において改変が可能となるよう、図表等の元データも併せて納品すること。
ク　成果物の作成に当たって、特別なツールを使用する場合は、担当職員の承認を得ること。
ケ　成果物が外部に不正に使用されたり、納品過程において改ざんされたりすることのないよう、安全な納品方法を提案し、成果物の情報セキュリティの確保に留意すること。
コ　電磁的記録媒体により納品する場合は、不正プログラム対策ソフトウェアによる確認を行うなどして、成果物に不正プログラムが混入することのないよう、適切に対処すること。なお、対策ソフトウェアに関する情報（対策ソフトウェア名称、定義パターンバージョン、確認年月日）を記載したラベルを貼り付けること。

（３）成果物の納品場所

原則として、成果物は次の場所において引渡しを行うこと。ただし、事務管理班が納品場所を別途指示する場合はこの限りではない。

〒100-8952　東京都千代田区霞が関 1-2-1
林野庁国有林野部経営企画課（農林水産省北別館８階　ドア No.北 812）

８　業務上の秘密保持

受注者は、本業務の遂行上知り得た事業内容、内部事情、機密情報、固有の技術情報その他本業務に関連する一切の情報はこれを漏洩してはならない。

また、秘密保持義務は、本契約の契約期間内であるか、契約期間の満了後であるかを問わず継続する

９　作業の実施に当たっての遵守事項

「農林水産省における情報セキュリティの確保に関する規則」（平成 27 年３月 31 日農林水産省訓令第４号。最終改正令和６年５月１日農林水産省訓令第 13 号）等の説明を受けるとともに、本業務に係る情報セキュリティ要件を遵守すること。

なお、「農林水産省における情報セキュリティの確保に関する規則」は、「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」（以下「統一基準群」という。）に準拠することとされていることから、受注者は、統一基準群の改定を踏まえて規則が改正された場合には、本業務に関する影響分析を行うこと。

10　成果物に係る権利関係

本事業における成果物の原著作権及び二次的著作物の著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 21 条から第 28 条までに定める全ての権利）並びに民法（明治 29 年法律第 89 号）第 206 条に定める所有権は、受注者が本事業の実施の従前から権利を保有していた等の明確な理由によりあらかじめ提案書にて権利譲渡不可能と示されたもの以外は、全て農林水産省に帰属するものとする。

受注者に帰属する知的財産権を利用して本業務を行う場合、発注者に受注者の知的財産権の利用を許諾する範囲及び制約を受注者が周知すること。

農林水産省は、成果物について、第三者に権利が帰属する場合を除き、自由に複製し、改変等し、及びそれらの利用を第三者に許諾することができるとともに、任意に開示できるものとする。また、受注者は、成果物について、自由に複製し、改変等し、及びこれらの利用を第三者に許諾すること（以下「複製等」という。）ができるものとする。ただし、成果物に第三者の権利が帰属するときや、複製等により農林水産省がその業務を遂行する上で支障が生じるおそれがある旨を契約締結時までに通知したときは、この限りでないものとし、この場合には、複製等ができる範囲やその方法等について協議するものとする。

本調達に係る成果物に関する権利（著作権法第 21 条から第 28 条に定める全ての権利を含む。）及び成果物の所有権は、農林水産省から受注者に対価が完済されたとき受注者から農林水産省に移転するものとする。

また、成果物に第三者が権利を有する著作物（以下「既存著作物等」という。）が含まれる場合、受注者は、当該既存著作物等の使用に必要な費用の負担、使用許諾契約等に関わる一切の手続を行うこと。この場合、本事業の受注者は、当該既存著作物の内容について、事前に農林水産省の承認を得ることとし、農林水産省は、既存著作物等について当該許諾条件の範囲で使用するものとする。なお、本仕様に基づく作業に関し、第三者との間に著作権に係る権利侵害の紛争の原因が専ら農林水産省の責めに帰す場合を除き、受注者の責任及び負担において一切を処理すること。この場合、農林水産省は係る紛争等の事実を知ったときは、受注者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を受注者に委ねる等の協力措置を講じるものとする。

受注者は、本業務の成果物を、発注者の了承を得ずに、発注者への納品用途以外に利用してはならない。また、受注者は農林水産省に対し、一切の著作者人格権を行使しないものとし、さらに、第三者をして行使させないものとする。

受注者は使用する画像、デザイン、表現等に関して他者の著作権を侵害する行為に十分配慮し、これを行わないこと。

11　契約不適合責任

（１）農林水産省は検収（「検査」と同義。以下同じ。）完了後、成果物について仕様書との不一致（バグも含む。以下「契約不適合」という。）が発見された場合、受注者に対して当該契約不適合の修正等の履行の追完（以下「追完」という。）を請

求することができ、受注者は、当該追完を行うものとすること。ただし、農林水産省が追完の方法についても請求した場合であって、農林水産省に不相当な負担を課するものでないときは、受注者は農林水産省が請求した方法と異なる方法による追完を行うことができること。

（２）前号（１）の場合において、追完の請求にも関わらず相当の期間内に追完がなされないときは、農林水産省は、その不適合の程度に応じて支払うべき金額の減額を請求することができる。

（３）前号（２）の規定にかかわらず、次に掲げる場合には、農林水産省は、相当の期間の経過を待つことなく、直ちに支払うべき金額の減額を請求することができる。

（ア）追完が不能であるとき。

（イ）受注者が追完を拒絶する意思を明確に表示したとき。

（ウ）特定の日時又は一定の期間内に履行をしなければ本調達の目的を達することができない場合において、受注者が追完をしないでその時期を経過したとき。

（エ）（ア）から（ウ）までに掲げる場合のほか、農林水産省が追完の請求をしても追完を受ける見込みがないことが明らかであるとき。

（４）農林水産省は、当該契約不適合（受注者の責めに帰すべき事由により生じたものに限る。）により損害を被った場合、受注者に対して損害賠償を請求することができること。

（５）当該契約不適合について、追完の請求にもかかわらず相当期間内に追完がなされない場合又は追完の見込みがない場合で、当該契約不適合により本契約の目的を達することができないときは、農林水産省は本契約の全部又は一部を解除することができること。

（６）受注者が本項に定める責任その他の契約不適合責任を負うのは、検収完了後１年以内に農林水産省から当該契約不適合を通知された場合に限るものとすること。ただし、検収完了時において受注者が当該契約不適合を知り若しくは重過失により知らなかったとき、又は当該契約不適合が受注者の故意若しくは重過失に起因するときにはこの限りでない。

（７）前各号の要件は、契約不適合が農林水産省の提供した資料等又は農林水産省の与えた指示によって生じたときは適用しないこと。ただし、受注者がその資料等又は指示が不適当であることを知りながら告げなかったときはこの限りでない。

（８）本業務の受注者は、成果物等について、納品期日までに農林水産省に内容の説明を実施して検収を受けること。

（９）検収の結果、成果物等に不備又は誤り等が見つかった場合には、直ちに必要な修正、改修、交換等を行い、変更点について農林水産省に説明を行った上で、指定された日時までに再度納品すること。

12　再請負に係る留意事項

受注者は、本事業の実施に当たって、再請負を行う場合は、事前に支出負担行為担当官に承認を得るものとする。なお、受注者は、業務の全部若しくは主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。なお、主たる部分とは、業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定、技術的判断等をいうものとする。また、再請負ができる事業は、原則として請負費の限度額に占める再請負の金額の割合が 50 パーセント以内の業務とする。

13　共同事業体としての参加

（１）複数の事業者が共同提案する場合、その中から全体の意思決定、運営管理等に責任を持つ共同提案の代表者を定めるとともに、本代表者が本調達に対する入札を行うこと。

（２）共同提案を構成する事業者間においては、その結成、運営等について協定を締結し、業務の遂行に当たっては、代表者を中心に、各事業者が協力して行うこと。事業者間の調整事項、トラブル等の発生に際しては、その当事者となる当該事業者間で解決すること。また、解散後の契約不適合責任に関しても協定の内容に含めること。

（３）共同提案を構成する全ての事業者は、本入札への単独提案又は他の共同提案への参加を行っていないこと。

14　入札公告期間中の資料閲覧等

（１）本業務への応札を検討する者に対し、上記６の貸与物品のうち（１）、（２）については、農林水産省内にて閲覧可能とする。なお、資料の閲覧に当たっては、必ず事前に事務管理班まで連絡の上、閲覧日時を調整すること。

ア　資料閲覧場所

東京都千代田区霞が関１－２－１　農林水産省北別館８階　ドア No. 北 812

イ　閲覧期間及び時間

（ア）入札公告期間中

（イ）行政機関の休日を除く日の 10 時から 17 時まで（12 時から 13 時を除く。）

ウ　閲覧手続

応札希望者の商号、連絡先及び閲覧希望者氏名を別添１「閲覧申込書」に記載の上、閲覧希望日の２日前までに提出すること。また、閲覧日当日までに別添２「機密保持誓約書」に記載の上、提出すること。

エ　閲覧時の注意

閲覧にて知り得た内容については、本業務への応札の検討以外には使用しないこと。また、本調達に関与しない者等に情報が漏洩しないように留意すること。閲覧資料の複写等による閲覧内容の記録は行わないこと。

オ　連絡先

林野庁 国有林野部 経営企画課 事務管理班　電話 03－3502－6008

（２）本仕様書について疑義等がある場合は、応札希望者は質問状により質問すること。なお、質問状に対する回答は適宜行うこととする。

15　環境負荷低減への取組

（１）環境関係法令の遵守

受注者は、物品・役務（請負事業を含む）の提供に当たり、関連する環境関係法令を遵守するものとする。

ア　エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（昭和 54 年法律 49 号）

イ　廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）

ウ　国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号）

エ　プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（令和３年法律第 60 号）

オ　労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号）

カ　地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）

（２）環境関係法令の遵守以外の事項

受注者は、物品・役務（請負事業を含む）の提供に当たり、新たな環境負荷を与えることにならないよう、事業の最終報告時に様式（別紙４）を用いて、以下の取組に努めたことを、環境負荷低減のクロスコンプライアンス実施状況報告書として提出すること。なお、全ての事項について「実施した／努めた」又は「左記非該当」のどちらかにチェックを入れるとともに、ア～エの各項目について、一つ以上「実施した／努めた」にチェックを入れること。

ア 環境負荷低減に配慮したものを調達するよう努める。

イ エネルギーの削減の観点から、オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状況の記録・保存や、不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組（照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等）の実施に努める。

ウ 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分に努める。

エ みどりの食料システム戦略の理解に努めるとともに、機械等を扱う場合は、機械の適切な整備及び管理並びに作業安全に努める。

16　その他

（１）受注者は、事務管理班から要望があった場合、又は、受注者が必要と判断した場合、必要資料を作成の上、会議を開催すること。なお、会議終了後、10 日以内（行政機関の休日（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）第 1 条第 1 項各号に掲げる日をいう。）を除く。）に議事録を作成し、事務管理班の承認を受けること。

（２）事業実行上、不明な点又は疑義が生じた場合は、速やかに監督職員の指示を受けるものとする。

（３）受注者は、事務管理班が承認した事業計画書に従い、記載された成果物を作成すること。その際、コミュニケーション管理、体制管理、工程管理、品質管理、リスク管理、課題管理、システム構成管理、変更管理及び情報セキュリティ対策を行うこと。

（４）本仕様書と契約書の内容に齟齬が生じた場合には、本仕様書の内容が優先すること。

（５）本業務受注後に仕様書の内容の一部について変更を行おうとする場合、その変更の内容、理由等を明記した書面をもって農林水産省に申し入れを行うこと。双方の協議において、その変更内容が軽微（委託料、納期に影響を及ぼさない）かつ許容できると判断された場合は、変更の内容、理由等を明記した書面を双方が確認することによって変更を確定する。

（６）本業務に使用する言語（会話によるコミュニケーションを含む。）は日本語、数字は算用数字、単位は原則としてメートル法とすること。

（別紙１－１）

国有林野事業統計書帳票一覧

No	項目	帳票名	国有林野情報管理システムからのデータ出力の有無（※）
1	1　国有林野の現況等	1－1　管理区域及び面積	×
2		1－2　国有林野種目別、要存置、不要存置別面積	×
3		1－3　機能類型別、林種別面積	○
4		1－4　林種別、針広別材積	○
5		1－5　樹種別材積	○
6		1－6　林種別、針広別成長量	○
7		1－7　法指定地域	△
8		1－8　保安林	×
9		1－9　自然公園	○
10		1－10　保護林	△
11		1－11　緑の回廊	○
12		1－12　レクリエーションの森	△
13	2　地域振興	2－1　国有林野の地元利用	△
14		2－2　分収造林	×
15		2－3　共用林野	○
16		2－4　国有林野貸付使用地	○
17		2－5　市町村交付金	×
18	3　収穫	3－1　伐採方法別、伐採面積及び材積	○
19		3－2　立製内別、伐採面積及び材積	○
20		3－3　樹種別伐採量	○
21	4　販売及び製品生産	4－1　素材の生産及び販売	○
22		4－2　素材の受払	△
23	5　造林	5－1　国有林造林事業	△
24		5－2　樹種別新植面積及び数量	○
25	6　治山	6－1　国有林治山事業	×
26		6－2　民有林直轄治山事業	×
27	7　林道及び貯木場	7－1　林道及び貯木場の現況	△
28		7－2　林道事業	○
29	8　被害	8－1　国有林野の立木被害	×
30	9　組織及び人員	9－1　森林管理局位置、森林管理署等	×
31		9－2　職員	×
32	国庫帰属森林の部	帰－1　国庫帰属森林面積	×
33	公有林野等官行造林の部	官－1　官行造林地契約面積	×
34		官－2　官行造林地の林種別面積、材積、成長量	○
35		官－3　官行造林樹種別材積	○
36		官－4　官行造林地の保安林	×
37		官－5　官行造林伐採面積及び材積	○
38		官－6　官行造林樹種別伐採量	○
39		官－7　官行造林の立木被害	×

注：（※）○：全ての項目を出力、△：一部の項目を出力、×：出力していない

事業統計書作成に係る設計書（中間ファイル）整備帳票一覧

No	項目	帳票名	国有林野情報管理システムからのデータ出力の有無（※1）	データ項目数（※2）	照合帳票の有無	事業統計書作成に係る設計書（中間ファイル）の整備内容
1	1　国有林野の現況等	1－3　機能類型別、林種別面積	○	110	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
2		1－4　林種別、針広別材積	○	38	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
3		1－5　樹種別材積	○	30	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
4		1－6　林種別、針広別成長量	○	38	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
5		1－7　法指定地域	△	19	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
6		1－9　自然公園	○	18	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
7		1－10　保護林	△	13	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
8		1－11　緑の回廊	○	17	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
9		1－12　レクリエーションの森【東北、関東、中部、四国】	△	32	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
10	2　地域振興	2－1　国有林野の地元利用	△	9	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
11		2－3　共用林野	○	24	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
12		2－4　国有林野貸付使用地	○	50	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
13	3　収穫	3－1　伐採方法別、伐採面積及び材積	○	44	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
14		3－2　立製内別、伐採面積及び材積	○	31	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
15		3－3　樹種別伐採量	○	55	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
16	4　販売及び製品生産	4－1　素材の生産及び販売	○	10	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
17		4－2　素材の受払	△	12	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
18	5　造林	5－1　国有林造林事業	△	29	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
19		5－2　樹種別新植面積及び数量	○	26	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
20	7　林道及び貯木場	7－1　林道及び貯木場の現況	△	19	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
21		7－2　林道事業	○	21	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
22	公有林野等官行造林の部	官－2　官行造林地の林種別面積、材積、成長量	○	28	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
23		官－3　官行造林樹種別材積	○	30	×	設計書（中間ファイル）のソースコードからの内容の詳細化
24		官－5　官行造林伐採面積及び材積	○	44	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し
25		官－6　官行造林樹種別伐採量	○	55	○	設計書（中間ファイル）の整合確認、記載の改善、見直し

注：（※1）○：全ての項目を出力、△：一部の項目を出力

（※2）データ項目数とは、帳票内の国有林野情報管理システムからデータを出力している項目の数

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル	項目名（日本語）	項目内容
1	1	局コード	復命書. 復命書局
2	2	署コード	復命書. 復命書署
3	3	局署名	復命書. 復命書局と復命書. 復命書署をKEYとして組織マスタを読み込み、 コードが合致した「略称」(署)を出力する。 総計:各署を合計した材積を集計 県計:各都道府県ごとに合計した材積を集計 ※名称については、組織マスタに保持していないのでソースに直書きで良いと思われる。
4	4	都道府県名	復命書. 都道府県をキーにして都道府県マスタの名称を出力する。
5	5	都道府県コード	復命書. 都道府県
6	6	面積ーその他	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 更新非更新 <> 2）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 799） 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 4<立木竹及び幼齢木補償料>）OR （復命書. 収穫区分 = 6<緑化用立木竹>）OR （復命書. 収穫区分 = 9<累積債務部門>）OR （復命書. 収穫区分 = 10<臨時伐採>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書.契約販売済 = 0） 条件③(OR):（復命書. 林名区分 = 2(分収育林)） ・編集内容: 面積その他 = 面積その他 + 復命書. 収穫区域面積 を出力する。

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル	項目名（日本語）	項目内容
7	7	面積－総数	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 面積総数 =「面積皆伐」+「面積択伐」+「面積複層伐」+「面積間伐」
8	8	面積－皆伐	・集計条件: 共通条件(AND): ((復命書. 更新非更新 <> 2) AND (復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 199) AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR): (復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>) OR 条件②(OR): (復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>) OR 条件③(OR): (復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>) OR 条件④(OR): (復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済>) 条件⑤(OR): (復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)) ・編集内容: 面積皆伐 = 面積皆伐 + 復命書. 収穫区域面積 + 定期報告明細. 採取区面積 を出力する。 【伐採方法】 100(皆伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル	項目名（日本語）	項目内容
9	9	面積ー複層伐	・集計条件: 共通条件(AND): ((復命書. 更新非更新 <> 2) AND ((復命書. 伐採方法 BETWEEN 200 AND 299) OR (復命書. 伐採方法 BETWEEN 400 AND 499)) AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR): (復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>) OR 条件②(OR): (復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>) OR 条件③(OR): (復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>) OR 条件④(OR): ((復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済>) 条件⑤(OR): (復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)) ・編集内容: 面積皆伐 = 面積皆伐 + 復命書. 収穫区域面積 + 定期報告明細. 採取区面積 を出力する。 【伐採方法】 200(漸伐) 400(複層伐) 402(複層更新伐) 403(複層整理伐)
10	10	面積ー択伐	・集計条件: 共通条件(AND): ((復命書. 更新非更新 <> 2) AND (復命書. 伐採方法 BETWEEN 300 AND 399) AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR): (復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>) OR 条件②(OR): (復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>) OR 条件③(OR): (復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>) OR 条件④(OR): ((復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済>) 条件⑤(OR): (復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)) ・編集内容: 面積皆伐 = 面積皆伐 + 復命書. 収穫区域面積 + 定期報告明細. 採取区面積 を出力する。 【伐採方法】 300(択伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル	項目名（日本語）	項目内容	
11	11	面積－間伐	・集計条件: 共通条件(AND):((復命書. 更新非更新 <> 2) AND (復命書. 伐採方法 BETWEEN 500 AND 799) AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):(復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>) OR 条件②(OR):(復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>) OR 条件③(OR):(復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>) OR 条件④(OR):((復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済>) 条件⑤(OR):(復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)) ・編集内容: 面積皆伐 = 面積皆伐 + 復命書. 収穫区域面積 + 定期報告明細. 採取区面積 を出力する。	【伐採方法】 500(間伐) 510(経常間伐) 511(経常外間伐) 512(初間伐(経)) 520(保育間伐) 525(本数調整伐) 540(主伐期到達林分間伐) 548(列状間伐) 550(高齢級間伐) 560(人工林間伐) 561(人工林指定内間伐) 562(人工林指定外間伐) 570(天然林間伐) 571(単層天然林初回間伐) 572(天然林指定内間伐) 580(カラ間伐(外)) 581(若齢間伐) 582(複層受光伐) 583(複層予備伐) 584(被害木) 585(支障木) 586(間伐(支障木)) 587(間伐(被害木)) 590(その他間伐) 591(その他間伐(主)) 592(その他間伐(間)) 600(除伐) 610(除伐2類) 700(その他) 710(択伐・漸伐跡地) 720(複層林造成用伐跡地)
12	12	材積－総数－その他	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数その他 =「材積針葉樹その他」+「材積広葉樹その他」	

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
13	13	1			材積－総数－総数	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数総数 =「材積針葉樹総数」+「材積広葉樹総数」
14	13	2			材積－総数－総数－民収分	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数総数民収分 =「材積針葉樹総数民収分」+「材積広葉樹総数民収分」
15	13	3			材積－総数－皆伐	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数皆伐　=「材積針葉樹皆伐」+「材積広葉樹皆伐」
16	13	4			材積－総数－皆伐－民収分	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数皆伐民収分 =「材積針葉樹皆伐民収分」+「材積広葉樹皆伐民収分」
17	13	5			材積－総数－複層伐	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数複層伐　=「材積針葉樹複層伐」+「材積広葉樹複層伐」
18	13	6			材積－総数－複層伐－民収分	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数複層伐民収分 =「材積針葉樹複層伐民収分」+「材積広葉樹複層伐民収分」
19	13	7			材積－総数－択伐	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数択伐　=「材積針葉樹択伐」+「材積広葉樹択伐」

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
20	13	8			材積－総数－択伐－民収分	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数択伐民収分 =「材積針葉樹択伐民収分」+「材積広葉樹択伐民収分」
21	13	9			材積－総数－間伐	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数間伐 =「材積針葉樹間伐」+「材積広葉樹間伐」
22	13	10			材積－総数－間伐－民収分	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積総数間伐民収分 =「材積針葉樹間伐民収分」+「材積広葉樹間伐民収分」
23	13	11			材積－針葉樹－その他	・集計条件: 共通条件(AND):（立木樹材種集計. 樹種 < 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 799 ） 条件①(OR):（（復命書. 収穫区分 = 4<立木竹及び幼齢木補償料> ）OR （復命書. 収穫区分 = 6<緑化用立木竹> ）OR （復命書. 収穫区分 = 9<累積債務部門> ）OR （復命書. 収穫区分 = 10<臨時伐採> ）） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量> ）AND（復命書. 契約販売済 = 0 ）） 条件③(OR):（復命書. 林名区分 = 2(分収育林) ） ・編集内容: 材積針葉樹その他 = 材積針葉樹その他 + 立木樹材種集計. 実行数量 【収穫区分】 6(緑化用立木竹) 7(材積分収) 8(国の持分譲渡) 9(累積債務部門) 10(臨時伐採) 【伐採方法】 全コード

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
24	13	12			材積ー針葉樹ー総数	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積針葉樹総数 =「材積針葉樹皆伐」+「材積針葉樹択伐」+「材積針葉樹複層伐」+「材積針葉樹間伐」
25	13	13			材積ー針葉樹ー総数ー民収分	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積針葉樹総数民収分 =「材積針葉樹皆伐民収分」+「材積針葉樹択伐民収分」+ 「材積針葉樹複層伐民収分」+「材積針葉樹間伐民収分」
26	13	14			材積ー針葉樹ー皆伐	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 < 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 < 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 199 ）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積ー民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積ー官 = 立木樹材種集計. 実行数量 － 材積ー民 ③材積針葉樹皆伐 = 材積針葉樹皆伐 + 材積ー官 ④材積ー民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ⑤材積ー官 = 定期報告明細. 採取材積 － 材積ー民 ⑥材積針葉樹皆伐 = 材積針葉樹皆伐 + 材積ー官

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
27	13	15			材積ー針葉樹ー皆伐ー民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 < 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 < 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 199 ）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積ー民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積針葉樹皆伐民収分 = 材積針葉樹皆伐民収分 + 材積ー民 ③材積ー民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ④材積針葉樹皆伐民収分 = 材積針葉樹皆伐民収分 + 材積ー民
28	13	16			材積ー針葉樹ー複層伐	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 < 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 < 2000 ）AND ((復命書. 伐採方法 BETWEEN 200 AND 299) OR (復命書. 伐採方法 BETWEEN 400 AND 499)) AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積ー民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積ー官 = 立木樹材種集計. 実行数量 － 材積ー民 ③材積針葉樹複層伐 = 材積針葉樹複層伐 + 材積ー官 ④材積ー民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ⑤材積ー官 = 定期報告明細. 採取材積 － 材積ー民 ⑥材積針葉樹複層伐 = 材積針葉樹複層伐 + 材積ー官 【伐採方法】 200(漸伐) 400(複層伐) 402(複層更新伐) 403(複層整理伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
29	13	17			材積－針葉樹－複層伐－民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 < 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 < 2000 ）AND (（復命書. 伐採方法 BETWEEN 200 AND 299 ）OR（復命書. 伐採方法 BETWEEN 400 AND 499)) AND (（復命書. 林名区分 = 1<国有林> ）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量> ）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権> ）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊（100 － 復命書. 官収歩合 ）/ 100 ②材積針葉樹複層伐民収分 = 材積針葉樹複層伐民収分 + 材積－民 ③材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊（100 － 復命書. 官収歩合 ）/ 100 ④材積針葉樹複層伐民収分 = 材積針葉樹複層伐民収分 + 材積－民 【伐採方法】 200(漸伐) 400(複層伐) 402(複層更新伐) 403(複層整理伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
30	13	18			材積－針葉樹－択伐	・集計条件: 共通条件(AND):（立木樹材種集計. 樹種 < 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 300 AND 399 ）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND （復命書. 契約販売済が、0以外（契約販売済）) AND （復命書. 復命書局 = 定期報告明細. 森林管理局コード) AND （復命書. 復命書署 = 定期報告明細. 森林管理署コード) AND （復命書. 復命書事務所 = 定期報告明細. 森林事務所コード) AND （復命書. 調査年度 = 定期報告明細. 調査年度) AND （復命書. 復命書番号 = 定期報告明細. 復命書番号 ） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積－官 = 立木樹材種集計. 実行数量 － 材積－民 ③材積針葉樹皆伐 = 材積針葉樹皆伐 + 材積－官 ④材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ⑤材積－官 = 定期報告明細. 採取材積 － 材積－民 ⑥材積針葉樹皆伐 = 材積針葉樹皆伐 + 材積－官 【伐採方法】 300(択伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容	
31	13	19			材積ー針葉樹ー択伐ー民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 < 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 < 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 300 AND 399 ）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積ー民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 - 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積針葉樹択伐民収分 = 材積針葉樹択伐民収分 + 材積ー民 ③材積ー民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 - 復命書. 官収歩合) / 100 ④材積針葉樹択伐民収分 = 材積針葉樹択伐民収分 + 材積ー民 【伐採方法】 300(択伐)	
32	13	20			材積ー針葉樹ー間伐	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 < 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 < 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 500 AND 799 ）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積ー民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 - 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積ー官 = 立木樹材種集計. 実行数量 - 材積ー民 ③材積針葉樹間伐 = 材積針葉樹間伐 + 材積ー官 ④材積ー民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 - 復命書. 官収歩合) / 100 ⑤材積ー官 = 定期報告明細. 採取材積 - 材積ー民 ⑥材積針葉樹間伐 = 材積針葉樹間伐 + 材積ー官	【伐採方法】 500(間伐) 510(経常間伐) 511(経常外間伐) 512(初間伐(経)) 520(保育間伐) 525(本数調整伐) 540(主伐期到達林分間伐) 548(列状間伐) 550(高齢級間伐) 560(人工林間伐) 561(人工林指定内間伐) 562(人工林指定外間伐) 570(天然林間伐) 571(単層天然林初回間伐) 572(天然林指定内間伐) 580(カラ間伐(外)) 581(若齢間伐) 582(複層受光伐) 583(複層予備伐) 584(被害木) 585(支障木) 586(間伐(支障木)) 587(間伐(被害木))

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容	
33	13	21			材積－針葉樹－間伐－民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 < 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 < 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 500 AND 799 ）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積針葉樹間伐民収分 = 材積針葉樹間伐民収分 + 材積－民 ③材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ④材積針葉樹間伐民収分 = 材積針葉樹間伐民収分 + 材積－民	590(その他間伐) 591(その他間伐(主)) 592(その他間伐(間)) 600(除伐) 610(除伐2類) 700(その他) 710(択伐・漸伐跡地) 720(複層林造成用伐跡地)
34	13	22			材積－広葉樹－その他	・集計条件: 共通条件(AND):（立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 799 ） 条件①(OR):((復命書. 収穫区分 = 4<立木竹及び幼齢木補償料>) OR （復命書. 収穫区分 = 6<緑化用立木竹>) OR （復命書. 収穫区分 = 9<累積債務部門>) OR （復命書. 収穫区分 = 10<臨時伐採>)) 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 0)) 条件③(OR):（復命書. 林名区分 = 2(分収育林) ） ・編集内容: 材積広葉樹その他 = 材積広葉樹その他 + 立木樹材種集計. 実行数量 【伐採方法】 全コード	
35	13	23			材積－広葉樹－総数	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積広葉樹総数 =「材積広葉樹皆伐」+「材積広葉樹択伐」+「材積広葉樹複層伐」+「材積広葉樹間伐」	

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
36	13	24			材積－広葉樹－総数－民収分	・集計条件: 特に無し ・編集内容: 材積広葉樹総数民収分 =「材積広葉樹皆伐民収分」+「材積広葉樹択伐民収分」+ 「材積広葉樹複層伐民収分」+「材積広葉樹間伐民収分」
37	13	25			材積－広葉樹－皆伐	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000 ）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 199 ）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>) OR (復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売> ） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材> ） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材> ） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>) AND (復命書. 契約販売済 = 1<販売済> ） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>) AND (復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済) ） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ②材積－官 = 立木樹材種集計. 実行数量 － 材積－民 ③材積広葉樹皆伐 = 材積広葉樹皆伐 + 材積－官 ④材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊(100 － 復命書. 官収歩合) / 100 ⑤材積－官 = 定期報告明細. 採取材積 － 材積－民 ⑥材積広葉樹皆伐 = 材積広葉樹皆伐 + 材積－官 【伐採方法】 100(皆伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
38	13	26			材積－広葉樹－皆伐－民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 100 AND 199）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済>） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ②材積広葉樹皆伐民収分 = 材積広葉樹皆伐民収分 + 材積－民 ③材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ④材積広葉樹皆伐民収分 = 材積広葉樹皆伐民収分 + 材積－民 【伐採方法】 100(皆伐)
39	13	27			材積－広葉樹－複層伐	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000）AND ((復命書. 伐採方法 BETWEEN 200 AND 299）OR（復命書. 伐採方法 BETWEEN 400 AND 499)) AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済>） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ②材積－官 = 立木樹材種集計. 実行数量 - 材積－民 ③材積広葉樹複層伐 = 材積広葉樹複層伐 + 材積－官 ④材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ⑤材積－官 = 定期報告明細. 採取材積 - 材積－民 ⑥材積広葉樹複層伐 = 材積広葉樹複層伐 + 材積－官 【伐採方法】 200(漸伐) 400(複層伐) 402(複層更新伐) 403(複層整理伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
40	13	28			材積－広葉樹－複層伐－民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000）AND ((復命書. 伐採方法 BETWEEN 200 AND 299）OR（復命書. 伐採方法 BETWEEN 400 AND 499)) AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済>） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊（100 － 復命書. 官収歩合）／ 100 ②材積広葉樹複層伐民収分 = 材積広葉樹複層伐民収分 + 材積－民 ③材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊（100 － 復命書. 官収歩合）／ 100 ④材積広葉樹複層伐民収分 = 材積広葉樹複層伐民収分 + 材積－民 【伐採方法】 200(漸伐) 400(複層伐) 402(複層更新伐) 403(複層整理伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
41	13	29			材積－広葉樹－択伐	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 300 AND 399）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済>） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊（100 － 復命書. 官収歩合）/ 100 ②材積－官 = 立木樹材種集計. 実行数量 － 材積－民 ③材積広葉樹択伐 = 材積広葉樹択伐 + 材積－官 ④材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊（100 － 復命書. 官収歩合）/ 100 ⑤材積－官 = 定期報告明細. 採取材積 － 材積－民 ⑥材積広葉樹択伐 = 材積広葉樹択伐 + 材積－官 【伐採方法】 300(択伐)
42	13	30			材積－広葉樹－択伐－民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 300 AND 399）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済>） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 ＊（100 － 復命書. 官収歩合）/ 100 ②材積広葉樹択伐民収分 = 材積広葉樹択伐民収分 + 材積－民 ③材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 ＊（100 － 復命書. 官収歩合）/ 100 ④材積広葉樹択伐民収分 = 材積広葉樹択伐民収分 + 材積－民 【伐採方法】 300(択伐)

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容	
43	13	31			材積－広葉樹－間伐	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 500 AND 799）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済>） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ②材積－官 = 立木樹材種集計. 実行数量 - 材積－民 ③材積広葉樹間伐 = 材積広葉樹間伐 + 材積－官 ④材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ⑤材積－官 = 定期報告明細. 採取材積 - 材積－民 ⑥材積広葉樹間伐 = 材積広葉樹間伐 + 材積－官	【伐採方法】 500(間伐) 510(経常間伐) 511(経常外間伐) 512(初間伐(経)) 520(保育間伐) 525(本数調整伐) 540(主伐期到達林分間伐) 548(列状間伐) 550(高齢級間伐) 560(人工林間伐) 561(人工林指定内間伐) 562(人工林指定外間伐) 570(天然林間伐) 571(単層天然林初回間伐) 572(天然林指定内間伐) 580(カラ間伐(外)) 581(若齢間伐) 582(複層受光伐) 583(複層予備伐) 584(被害木) 585(支障木) 586(間伐(支障木)) 587(間伐(被害木)) 590(その他間伐) 591(その他間伐(主)) 592(その他間伐(間)) 600(除伐) 610(除伐2類) 700(その他) 710(択伐・漸伐跡地) 720(複層林造成用伐跡地)
44	13	32			材積－広葉樹－間伐－民収分	・集計条件: 共通条件(AND):（復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)以外の場合、立木樹材種集計. 樹種 >= 2000 復命書. 収穫区分が11(樹木採取権)の場合、定期報告明細. 樹種 >= 2000）AND （復命書. 伐採方法 BETWEEN 500 AND 799）AND ((復命書. 林名区分 = 1<国有林>）OR（復命書. 林名区分 = 3<分収造林>)) 条件①(OR):（復命書. 収穫区分 = 1<立木販売>） 条件②(OR):（復命書. 収穫区分 = 2<製品生産資材>） 条件③(OR):（復命書. 収穫区分 = 3<内部振替資材>） 条件④(OR):（復命書. 収穫区分 = 5<事業支障木等伐採で当年度販売しない収穫量>）AND（復命書. 契約販売済 = 1<販売済>） 条件⑤(OR):（復命書. 収穫区分 = 11<樹木採取権>）AND（復命書. 契約販売済が、0以外(契約販売済)） ・編集内容: ①材積－民 = 立木樹材種集計. 実行数量 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ②材積広葉樹間伐民収分 = 材積広葉樹間伐民収分 + 材積－民 ③材積－民 = 定期報告明細. 採取材積 *（100 - 復命書. 官収歩合）/ 100 ④材積広葉樹間伐民収分 = 材積広葉樹間伐民収分 + 材積－民	

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS18	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	３－１ 伐採方法別、伐採面積及び材積	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル	項目名（日本語）	項目内容
			備考 データSELECT条件 復命書. 復命書局 = システム局 AND 定期報告明細.報告年度 = 画面入力年度 AND 復命書.林名区分 = 1(国有林) AND 復命書.収穫区分 = 11(樹木採取権) AND 復命書.契約販売済が0以外（契約販売済） 復命書. 復命書キー = 立木樹材種集計. 復命書キー 復命書. 復命書キー = 定期報告明細. 復命書キー （ 復命書. 復命書局 = 定期報告明細. 森林管理局コード ） AND （ 復命書. 復命書署 = 定期報告明細. 森林管理署コード ） AND （ 復命書. 復命書事務所 = 定期報告明細. 森林事務所コード ） AND （ 復命書. 調査年度 = 定期報告明細. 調査年度 ） AND （ 復命書. 復命書番号 = 定期報告明細. 復命書番号 ） ※刷新INPUTテーブル：復命書テーブル(ShuFukumei), 立木樹材種集計テーブル(ShuRJuzaiS) <参考情報>分散INPUTテーブル：復命書テーブル(DBBFKSM0), 樹材種別テーブル(DBBJZSM0),林小班テーブル(L1ZRIN01) ※「20XX」には画面入力年度の開始年と終了年が入る。

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS15	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	２－３ 共用林野	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
1	1				局コード	貸付管理.森林管理局コードを出力する。
2	2				署コード	①貸付管理.森林管理署コードを出力する。 ②該当局の最終署まで到達した場合、署コード'999'(総計)を出力する。
3	3				局署名等	・集計条件 ①貸付管理.森林管理局コード = 組織マスタ.森林管理局コード AND 貸付管理.森林管理署コード = 組織マスタ.森林管理署コードの場合 ②該当局の最終署まで到達した場合 ・編集内容 ①組織マスタ.略称を出力する。 ②"総計"という文字を出力する。
4	4	1			総数－契約件数	・集計条件 なし ・編集内容 総数－契約件数 =「普通共用林野－契約件数」+「薪炭共用林野－契約件数」+「放牧共用林野－契約件数」+「アイヌ共用林野－契約件数」
5	4	2			総数－面積	・集計条件 なし ・編集内容 総数－面積 =「普通共用林野－面積」+「薪炭共用林野－面積」+「放牧共用林野－面積」+「アイヌ共用林野－面積」
6	4	3			総数－使用料	・集計条件 なし ・編集内容 総数－使用料 =「普通共用林野－使用料」+「薪炭共用林野－使用料」+「放牧共用林野－使用料」+「アイヌ共用林野－使用料」
7	4	4			総数－共用者数	・集計条件 なし ・編集内容 総数－共用者数 =「普通共用林野－共用者数」+「薪炭共用林野－共用者数」+「放牧共用林野－共用者数」+「アイヌ共用林野－共用者数」

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS15	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	２－３ 共用林野	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
8	5	1			普通共用林野ー契約件数	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 5(普通共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 普通共用林野ー契約件数 = 件数1を加算。
9	5	2			普通共用林野ー面積	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 5(普通共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 普通共用林野ー面積 = 貸付管理.今回貸付面積の集計。 ※小数点の操作は行わない。
10	5	3			普通共用林野ー使用料	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 5(普通共用林野) AND 貸付管理.料金区分 <> 2(無償は含まない) AND 貸付管理年次.年次 = 当年度 AND 貸付管理.貸付管理キー = 貸付管理年次.貸付管理年次キー ・編集内容 普通共用林野ー使用料 = (貸付管理年次.年次金額 + 貸付管理年次.年次金額２)の集計。

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS15	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	２－３ 共用林野	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
11	5	4			普通共用林野ー共用者数	・集計条件 共通条件(AND)：貸付管理.態様種類 = 5(普通共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)：貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)：貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 普通共用林野ー共用者数 = 貸付集計.共用者数の集計。
12	6	1			薪炭共用林野ー契約件数	・集計条件 共通条件(AND)：貸付管理.態様種類 = 6(薪炭共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)：貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)：貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 薪炭共用林野ー契約件数 = 件数1を加算。
13	6	2			薪炭共用林野ー面積	・集計条件 共通条件(AND)：貸付管理.態様種類 = 6(薪炭共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)：貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)：貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 薪炭共用林野ー面積 = 貸付管理.今回貸付面積の集計。 ※小数点の操作は行わない。

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS15	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	２－３ 共用林野	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
14	6	3			薪炭共用林野ー使用料	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 6(薪炭共用林野) AND 貸付管理.料金区分 <> 2(無償は含まない) AND 貸付管理年次.年次 = 当年度 AND 貸付管理.貸付管理キー = 貸付管理年次.貸付管理年次キー ・編集内容 薪炭共用林野ー使用料 =（ 貸付管理年次.年次金額 + 貸付管理年次.年次金額２)の集計。
15	6	4			薪炭共用林野ー共用者数	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 6(薪炭共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <=（当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >=（当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL（返地が行われていない場合） 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >=（当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 薪炭共用林野ー共用者数 = 貸付集計.共用者数の集計。
16	7	1			放牧共用林野ー契約件数	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 7(放牧共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <=（当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >=（当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL（返地が行われていない場合） 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >=（当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 放牧共用林野ー契約件数 = 件数1を加算。

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS15	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	２－３ 共用林野	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
17	7	2			放牧共用林野ー面積	・集計条件 共通条件(AND)：貸付管理.態様種類 = 7(放牧共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)：貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)：貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 放牧共用林野ー面積 = 貸付管理.今回貸付面積の集計。 ※小数点の操作は行わない。
18	7	3			放牧共用林野ー放牧頭数	・集計条件 共通条件(AND)：貸付管理.態様種類 = 7(放牧共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)：貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)：貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 放牧共用林野ー放牧頭数 = 貸付管理.放牧頭数の集計。
19	7	4			放牧共用林野ー使用料	・集計条件 共通条件(AND)：貸付管理.態様種類 = 7(放牧共用林野) AND 貸付管理.料金区分 <> 2(無償は含まない) AND 貸付管理年次.年次 = 当年度 AND 貸付管理.貸付管理キー = 貸付管理年次.貸付管理年次キー ・編集内容 放牧共用林野ー使用料 = (貸付管理年次.年次金額 + 貸付管理年次.年次金額２)の集計。

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS15	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	２－３ 共用林野	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

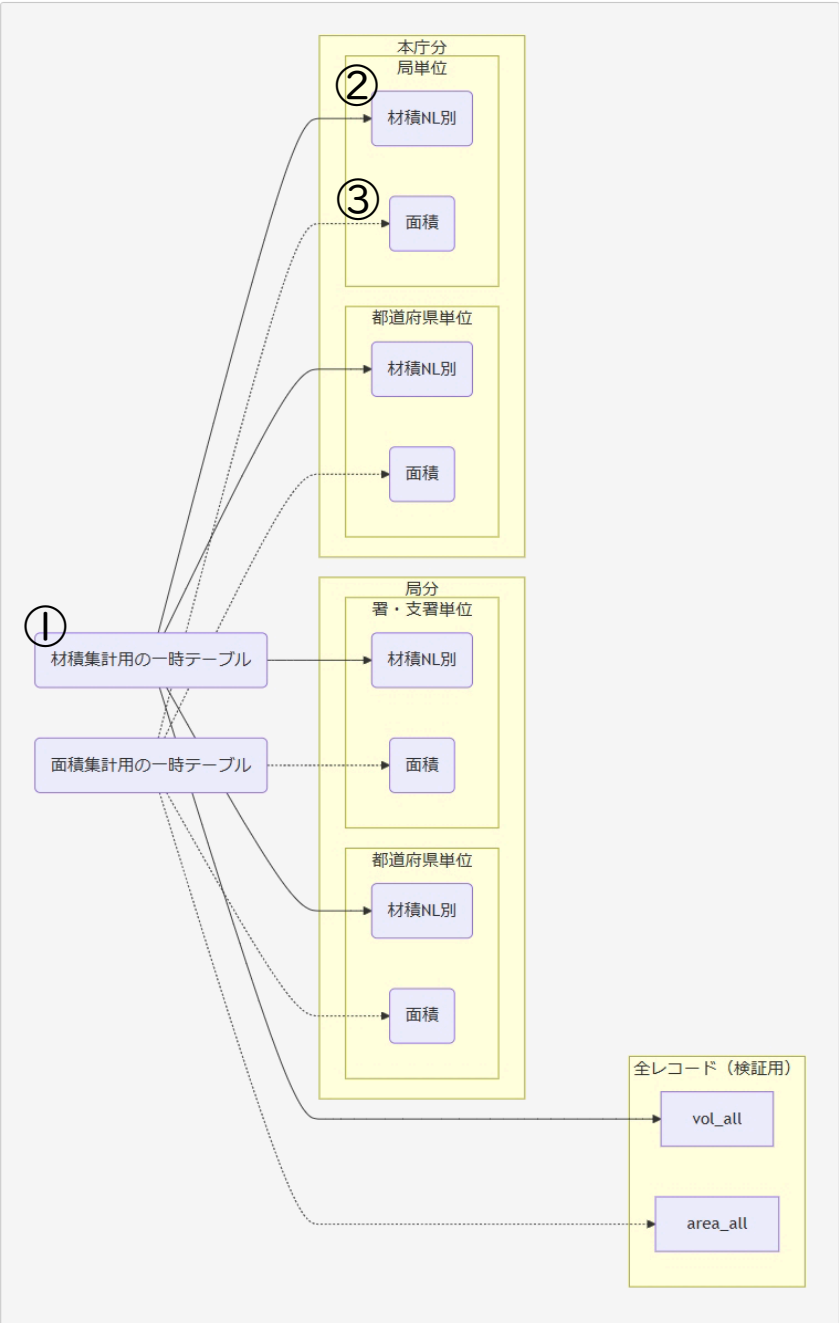
No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
20	7	5			放牧共用林野ー共用者数	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 7(放牧共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 放牧共用林野ー共用者数 = 貸付集計.共用者数の集計。
21	8	1			アイヌ共用林野ー契約件数	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 8(アイヌ共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 アイヌ共用林野ー契約件数 = 件数1を加算。
22	8	2			アイヌ共用林野ー面積	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 8(アイヌ共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 アイヌ共用林野ー面積 = 貸付管理.今回貸付面積の集計。 ※小数点の操作は行わない。

SS11	中間ファイル項目詳細	システム名	サブシステム名
		分析・統計	事業統計

ファイルID	YA2ABS15	ユースケースID	YA2AU010
ファイル名	２－３ 共用林野	ユースケース名	事業統計書ＣＳＶファイル作成

No.	階層レベル				項目名（日本語）	項目内容
23	8	3			アイヌ共用林野ー使用料	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 8(アイヌ共用林野) AND 貸付管理.料金区分 <> 2(無償は含まない) AND 貸付管理年次.年次 = 当年度 AND 貸付管理.貸付管理キー = 貸付管理年次.貸付管理年次キー ・編集内容 アイヌ共用林野ー使用料 = (貸付管理年次.年次金額 + 貸付管理年次.年次金額２)の集計。
24	8	4			アイヌ共用林野ー共用者数	・集計条件 共通条件(AND)： 貸付管理.態様種類 = 8(アイヌ共用林野) AND 貸付管理.台帳番号枝番 = MAX値(台帳番号枝番が一番大きい値のものが最新の情報となるため) AND 貸付管理.貸付期間開始 <= (当年度 + 1)-03-31 AND 貸付管理.貸付期間終了 >= (当年度 + 1)-03-31 条件①(OR)： 貸付管理.返地日 IS NULL(返地が行われていない場合) 条件②(OR)： 貸付管理.返地日 >= (当年度 + 1)-03-31 ・編集内容 アイヌ共用林野ー共用者数 = 貸付集計.共用者数の集計。
						備考 データSELECT条件 貸付管理テーブル条件 (貸付管理.森林管理局コード = システム局) AND (貸付管理.台帳区分 = 2(共用林野台帳)) 貸付管理年次テーブル条件 (貸付管理年次.森林管理局コード = システム局) AND (貸付管理年次.台帳区分 = 2(共用林野台帳))

全体俯瞰図（処理概要）イメージ図
（例：帳票３－Ｉ　伐採方法別、伐採面積及び材積）



全体俯瞰図（集計パターン別俯瞰図）イメージ図（例：帳票３－Ｉ　伐採方法別、伐採面積及び材積（①材積集計用一時テーブル））

インプット

復命書
復命書局
復命書署
都道府県
官造地
復命書番号
林班主番
林班枝番
小班主番
小班枝番
収穫区分
伐採方法
林名区分
契約販売済
官収歩合
更新非更新

立木樹材種集計
復命書局
復命書署
復命書事務所
調査年度
復命書番号
樹種
実行数量

樹立時調査簿
都道府県コード
森林管理局コード
森林管理署コード
官行造林地コード
林班主番
林班枝番
小班主番コード
小班枝番

組織マスタ
森林管理局名
森林管理署名
役職名
課名
部名
森林事務所コード
森林管理局コード
森林管理署コード

都道府県マスタ
都道府県コード
市区町村コード
都道府県名

業務用語マスタ
種別
業務用語連番
正式名称

プロセス

```
WHERE
復命書.林名区分 <> 4 AND
(
  契約年度 = ? AND
  契約販売済 <> 0
) OR
(
  (払出日付 >= YYYY/4/1 AND 払出日付 <= YYYY+1/3/31)
AND
  払出入力済 <> 0
```

名称
対象復命書抽出

説明
官公造林地を除く。
"契約年度"が集計する年度かつ"契約販売済"（"0":初期値,"1":契約販売済）が初期値以外である復命書、
または、"払出日付"が集計する年度内（YYYY/4/1～YYYY+1/3/31）かつ"払出入力済"（"0":初期値,"1":払出済,"2":返納済）が初期値以外の復命書を集計対象にする。

```
FROM
    復命書
    LEFT JOIN 立木樹材種集計 ON 復命書.復命書局 = 立木樹材種集計.復命書
局
    AND 復命書.復命書署 = 立木樹材種集計.復命書署
    AND 復命書.復命書事務所 = 立木樹材種集計.復命書事務所
    AND 復命書.調査年度 = 立木樹材種集計.調査年度
```

名称
対象復命書と立木樹材種集計の結合

説明
樹種と実行数量を取得するために立木樹材種集計を結合する。

```
FROM
    復命書
    LEFT JOIN 樹立時調査簿 ON 復命書.復命書局 = 樹立時調査簿.森林管理局コー
ド
    AND 復命書.復命書署 = 樹立時調査簿.森林管理署コード
    AND 復命書.官造地 = 樹立時調査簿.官行造林地コード
    AND 復命書.林班主番 = 樹立時調査簿.林班主番
    AND 復命書.林班枝番 = 樹立時調査簿.林班枝番
```

名称
対象復命書と樹立時調査簿の結合

説明
都道府県コードを取得するために樹立時調査簿を結合する。

```
FROM
    復命書
    LEFT JOIN 組織マスタ ON 組織マスタ.役職名 = ''
    AND 組織マスタ.課名 = ''
    AND 組織マスタ.部名 = ''
    AND 組織マスタ.森林事務所コード = 0
    AND 復命書.復命書局 = 組織マスタ.森林管理局コード
    AND 復命書.復命書署 = 組織マスタ.森林管理署コード
    LEFT JOIN 都道府県マスタ as prf1 ON prf1.市区町村コード = 0
    AND 復命書.都道府県 = prf1.都道府県コード
    LEFT JOIN 都道府県マスタ as prf2 ON prf2.市区町村コード = 0
    AND 樹立時調査簿.都道府県コード = prf2.都道府県コード
    LEFT JOIN 業務用語マスタ as G30050 ON G30050.種別 = 30050
    AND 復命書.収穫区分 = G30050.業務用語連番
    LEFT JOIN 業務用語マスタ as G440 ON G440.種別 = 440
    AND 復命書.伐採方法 = G440.業務用語連番
    LEFT JOIN 業務用語マスタ as G130 ON G130.種別 = 130
    AND 復命書.林名区分 = G130.業務用語連番
```

名称
対象復命書抽出

説明
復命書と各種マスタを結合する

名称
材積集計用一時テーブル(temp_table_volume)

説明
各マスタを使い、コードを文字に変換しながら出力する。
ただし、いくつかの項目については、変換条件を定める。

#変換条件
別記

#出力カラム
復命書局
森林管理局名
復命書署
森林管理署名
都道府県
都道府県名
官行造林地
復命書番号
林班主番
林班枝番
小班主番
小班枝番
収穫区分
収穫区分名
伐採方法
伐採方法名
林名区分
林名区分名
契約販売済
官収歩合
樹種
樹種名
実行数量
更新非更新コード
更新非更新
収穫区域面積
実行数量（官収）
実行数量（民収）

アウトプット

以下のそれぞれの集計へ分岐します。
（ここでのアウトプットはありません。）
・本庁分-局単位-材積NL別　……②
・本庁分-都道府県単位-材積NL別
・局分-署単位-材積NL別
・局分-都道府県単位-材積NL別

処理参考
CREATE TEMPORARY TABLE temp_table_volume as ....

#変換条件

```
#更新非更新
  CASE
    WHEN 復命書.更新非更新 <> 2 THEN "実行総括に面積を計上する"
    ELSE "実行総括に面積を計上しない"
  END as 更新非更新,
```

```
#実行数量（官収）
  CASE
    WHEN 復命書.伐採方法 BETWEEN 100
    AND 799
    AND (
      (
        復命書.収穫区分 IN(4, 6, 9, 10)
        OR (
          復命書.収穫区分 = 5
          AND 復命書.契約販売済 = 0
        )
        OR 復命書.林名区分 = 2
      )
    ) THEN 立木樹材種集計.実行数量
    ELSE 立木樹材種集計.実行数量 * (復命書.官収歩合 * 0.01)
```

```
#実行数量（民収）
  CASE
    WHEN 復命書.伐採方法 BETWEEN 100
    AND 799
    AND (
      (
        復命書.収穫区分 IN(4, 6, 9, 10)
        OR (
          復命書.収穫区分 = 5
          AND 復命書.契約販売済 = 0
        )
        OR 復命書.林名区分 = 2
      )
    ) THEN 0
    ELSE 立木樹材種集計.実行数量 * (1 - 復命書.官収歩合 * 0.01)
  END AS "実行数量（民収）",
```

```
#NL別
  CASE
    WHEN 立木樹材種集計.樹種 BETWEEN 1000
    AND 1999 THEN "1- N "
    WHEN 立木樹材種集計.樹種 BETWEEN 2000
    AND 2999 THEN "2- L "
    ELSE "3-竹"
  END AS NL別
```

```
#伐採方法分類
  CASE
    WHEN 復命書.伐採方法 BETWEEN 100
    AND 799
    AND (
      (
        復命書.収穫区分 IN(4, 6, 9, 10)
        OR (
          復命書.収穫区分 = 5
          AND 復命書.契約販売済 = 0
        )
        OR 復命書.林名区分 = 2
      )
    ) THEN "0-その他"
    WHEN 復命書.伐採方法 BETWEEN 100
    AND 199
    AND (
      復命書.収穫区分 IN(1, 2, 3)
      OR (
        復命書.収穫区分 = 5
        AND 復命書.契約販売済 = 1
      )
      AND 復命書.林名区分 IN(1, 3)
    ) THEN "1-皆伐"
    WHEN (
      復命書.伐採方法 BETWEEN 200
      AND 299
      OR 復命書.伐採方法 BETWEEN 400
      AND 499
    )
    AND (
      復命書.収穫区分 IN(1, 2, 3)
      OR (
        復命書.収穫区分 = 5
        AND 復命書.契約販売済 = 1
      )
      AND 復命書.林名区分 IN(1, 3)
    ) THEN "2-搬層伐"
    WHEN 復命書.伐採方法 BETWEEN 300
    AND 399
    AND (
      復命書.収穫区分 IN(1, 2, 3)
      OR (
        復命書.収穫区分 = 5
        AND 復命書.契約販売済 = 1
      )
      AND 復命書.林名区分 IN(1, 3)
    ) THEN "3-択伐"
    WHEN 復命書.伐採方法 BETWEEN 500
    AND 799
    AND (
      復命書.収穫区分 IN(1, 2, 3)
      OR (
        復命書.収穫区分 = 5
        AND 復命書.契約販売済 = 1
      )
      AND 復命書.林名区分 IN(1, 3)
    ) THEN "4-間伐"
    WHEN 復命書.伐採方法 BETWEEN 100
```

全体俯瞰図（集計パターン別俯瞰図）イメージ図（例：帳票３－Ｉ　伐採方法別、伐採面積及び材積（②本庁分-局単位-材積NL別））

インプット

①材積集計用一時テーブル

復命書局,
森林管理局名,
伐採方法分類,
NL別,
実行数量,
実行数量（官収）,
実行数量（民収）

プロセス

```
SELECT
    復命書局,
    森林管理局名,
    伐採方法分類,
    NL別,
    ROUND(SUM(実行数量), 0) as 実行数量,
    ROUND(SUM("実行数量（官収）"), 0)
as "実行数量（官収）",
    ROUND(SUM("実行数量（民収）"), 0)
as "実行数量（民収）"
FROM
    temp_table_volume
GROUP BY
    復命書局,
    森林管理局名,
    伐採方法分類,
```

＃名称
単位ごとに集計

＃説明
復命書局,森林管理局名,伐採方法分類,NL別でグループ化し、実行数量,実行数量（官収）,実行数量（民収）を合計する。
結果は小数点以下第一位を四捨五入して整数にする。

＃出力されるカラム
復命書局,森林管理局名,伐採方法分類,NL別,実行数量,実行数量（官収）,実行数量（民収）

アウトプット

表データ（個別レコード）
必要に応じて検証（検算）用に出力する。

```
SELECT
  *
FROM
  temp_table_volume
ORDER BY
  復命書局,
  復命書署,
  林班主番,
  林班枝番,
  小班主番,
  小班枝番,
  樹種,
  収穫区分,
```

３－１　伐採方法別、伐採面積及び材積

単位(面積:ha, 材積:m3)

年度 森林管理局 都道府県	伐採方法別	面積	材積 総数		材積 針葉樹		材積 広葉樹	
		「8,657」	－	「977,665」	－	「908,987」	－	「68,677」
平成30年度	総数	59,119	(1,002,734)	6,607,188	(952,393)	6,092,626	(50,341)	514,562
		「7,118」	－	「825,849」	－	「757,650」	－	「68,199」
令和元年度	総数	57,704	(1,121,390)	6,635,219	(1,068,025)	6,104,421	(53,365)	530,798
		「5,907」	－	「872,635」	－	「798,007」	－	「74,628」
令和2年度	総数	51,228	(783,985)	5,878,398	(725,321)	5,449,689	(58,664)	428,709
		「5,461」	－	「855,471」	－	「787,198」	－	「68,273」
令和3年度	総数	58,795	(1,265,091)	6,944,597	(1,199,026)	6,427,748	(66,065)	516,849
		「4,234」	－	**「615,411」**	－	**「559,827」**	－	**「55,587」**
令和4年度	**総数**	**53,995**	**(830,719)**	**6,264,820**	**(781,987)**	**5,761,824**	**(48,732)**	**502,996**
	皆伐	3,638	(813,108)	1,154,124	(765,307)	1,034,025	(47,802)	120,099
	複層伐	2,150	－	279,788	－	255,440	－	24,346
	択伐	612	－	24,546	－	21,880	－	2,666
	間伐	47,595	(17,609)	4,806,363	(16,679)	4,450,479	(930)	355,885
		「199」	－	「44,284」	－	「32,756」	－	「11,528」
北海道	総数	24,261	(8,888)	1,700,048	(7,829)	1,432,224	(1,059)	267,825
	皆伐	233	(4,278)	251,760	(4,025)	200,622	(254)	51,137
	複層伐	1,536	－	96,266	－	77,213	－	19,053
	択伐	233	－	12,758	－	12,454	－	304
	間伐	22,259	(4,610)	1,339,265	(3,804)	1,141,935	(806)	197,330
		「1,455」	－	「171,883」	－	「152,425」	－	「19,459」
東北	総数	12,193	(175,788)	1,784,370	(153,551)	1,606,350	(22,238)	178,020
	皆伐	1,015	(173,369)	281,986	(151,209)	247,530	(22,161)	34,456
	複層伐	386	－	82,649	－	78,801	－	3,848
	択伐	372	－	11,137	－	8,794	－	2,343
	間伐	10,419	(2,419)	1,408,597	(2,342)	1,271,224	(77)	137,373
		「305」	－	「81,650」	－	「69,119」	－	「12,533」
関東	総数	4,086	(237,415)	748,641	(215,978)	730,853	(21,437)	17,788
	皆伐	886	(231,331)	223,796	(209,942)	211,154	(21,390)	12,643
	複層伐	26	－	12,091	－	11,824	－	265
	択伐	－	－	－	－	－	－	－
	間伐	3,174	(6,083)	512,755	(6,036)	507,875	(47)	4,880
		「529」	－	「115,751」	－	「110,756」	－	「4,995」
中部	総数	2,868	(28,584)	418,438	(26,171)	398,761	(2,413)	19,677
	皆伐	246	(28,584)	67,353	(26,171)	63,667	(2,413)	3,685
	複層伐	17	－	3,924	－	3,794	－	130
	択伐	6	－	630	－	612	－	19
	間伐	2,598	－	346,531	－	330,688	－	15,843
		「880」	－	「90,412」	－	「88,222」	－	「2,190」
近畿中国	総数	1,501	(10,805)	249,210	(10,396)	247,360	(408)	1,849
	皆伐	113	(8,722)	40,341	(8,313)	38,789	(408)	1,552
	複層伐	16	－	8,067	－	7,985	－	82
	択伐	－	－	－	－	－	－	－
	間伐	1,372	(2,083)	200,802	(2,083)	200,586	－	216
		「238」	－	「43,672」	－	「43,227」	－	「446」
四国	総数	1,799	(34,174)	311,643	(33,939)	309,906	(235)	1,736
	皆伐	152	(34,174)	36,905	(33,939)	35,375	(235)	1,530
	複層伐	18	－	7,732	－	7,732	－	－
	択伐	－	－	20	－	20	－	－
	間伐	1,629	－	266,985	－	266,779	－	206
		「627」	－	「67,758」	－	「63,322」	－	「4,436」
九州	総数	7,286	(335,064)	1,052,471	(334,122)	1,036,370	(942)	16,101
	皆伐	992	(332,650)	251,983	(331,708)	236,888	(942)	15,096
	複層伐	151	－	69,059	－	68,090	－	969
	択伐	－	－	－	－	－	－	－
	間伐	6,143	(2,414)	731,428	(2,414)	731,392	－	36

全体俯瞰図（集計パターン別俯瞰図）イメージ図（例：帳票３－１　伐採方法別、伐採面積及び材積（③本庁分-局単位-面積））

インプット

面積集計用一時テーブル
復命書局,
森林管理局名,
伐採方法分類,
収穫区域面積

プロセス

```
SELECT
  復命書局,
  森林管理局名,
  伐採方法分類,
  ROUND(SUM(収穫区域面積),0) as 収穫区域面積
FROM
  temp_table_area
GROUP BY
  復命書局,
  森林管理局名,
```

＃名称
単位ごとに集計

＃説明
復命書局,森林管理局名,伐採方法分類でグループ化し、収穫区域面積を合計する。
結果は小数点以下第一位を四捨五入して整数にする。

＃出力されるカラム
復命書局,森林管理局名,伐採方法分類,収穫区域面積

アウトプット

表データ（個別レコード）
必要に応じて検証（検算）用に出力する。

```
SELECT
  *
FROM
  temp_table_area
ORDER BY
  復命書局,
  復命書署,
  復命書番号,
  林班主番,
  林班枝番,
  小班主番,
  小班枝番;
```

３－１　伐採方法別、伐採面積及び材積

単位(面積:ha、材積:m3)

年度 森林管理局 都道府県	伐採方法別	面積	材積 総数		材積 針葉樹		材積 広葉樹	
平成30年度	総数	「8,657」 59,119	－ (1,002,734)	「977,665」 6,607,188	－ (952,393)	「908,987」 6,092,626	－ (50,341)	「68,677」 514,562
令和元年度	総数	「7,118」 57,704	－ (1,121,390)	「825,849」 6,635,219	－ (1,068,025)	「757,650」 6,104,421	－ (53,365)	「68,199」 530,798
令和2年度	総数	「5,907」 51,228	－ (783,985)	「872,635」 5,878,398	－ (725,321)	「798,007」 5,449,689	－ (58,664)	「74,628」 428,709
令和3年度	総数	「5,461」 58,795	－ (1,265,091)	「855,471」 6,944,597	－ (1,199,026)	「787,198」 6,427,748	－ (66,065)	「68,273」 516,849
令和4年度	**総数**	**「4,234」 53,995**	**－ (830,719)**	**「615,411」 6,264,820**	**－ (781,987)**	**「559,827」 5,761,824**	**－ (48,732)**	**「55,587」 502,996**
	皆伐	3,638	(813,108)	1,154,124	(765,307)	1,034,025	(47,802)	120,099
	複層	2,150	－	279,788	－	255,440	－	24,346
	択伐	612	－	24,546	－	21,880	－	2,666
	間伐	47,595	(17,609)	4,806,363	(16,679)	4,450,478	(930)	355,885
北海道	総数	「199」 24,261	－	「44,284」 1,700,048	－	「32,756」 1,432,224	－	「11,528」 267,825
	皆伐	233	(8,888)	251,760	(7,829)	200,622	(1,059)	51,137
	複層	1,536	(4,278)	96,266	(4,025)	77,213	(254)	19,053
	択伐	233	－	12,758	－	12,454	－	304
	間伐	22,259	(4,610)	1,339,265	(3,804)	1,141,995	(806)	197,330
東北	総数	「1,455」 12,193	－	「171,883」 1,784,370	－	「152,425」 1,606,350	－	「19,459」 178,020
	皆伐	1,015	(175,788)	281,986	(153,551)	247,530	(22,238)	34,456
	複層	386	(173,369)	82,649	(151,209)	78,801	(22,161)	3,848
	択伐	372	－	11,137	－	8,794	－	2,343
	間伐	10,419	(2,419)	1,408,597	(2,342)	1,271,224	(77)	137,373
関東	総数	「305」 4,086	－	「81,650」 748,641	－	「69,119」 730,853	－	「12,533」 17,788
	皆伐	886	(237,415)	223,796	(215,978)	211,154	(21,437)	12,643
	複層	26	(231,331)	12,091	(209,942)	11,824	(21,390)	265
	択伐	－	－	－	－	－	－	－
	間伐	3,174	(6,083)	512,755	(6,036)	507,875	(47)	4,880
中部	総数	「529」 2,868	－	「115,751」 418,438	－	「110,756」 398,761	－	「4,995」 19,677
	皆伐	246	(28,584)	67,353	(26,171)	63,667	(2,413)	3,685
	複層	17	(28,584)	3,924	(26,171)	3,794	(2,413)	130
	択伐	6	－	630	－	612	－	19
	間伐	2,598	－	346,531	－	330,688	－	15,843
近畿中国	総数	「880」 1,501	－	「90,412」 249,210	－	「88,222」 247,360	－	「2,190」 1,849
	皆伐	113	(10,805)	40,341	(10,396)	38,789	(408)	1,552
	複層	16	(8,722)	8,067	(8,313)	7,985	(408)	82
	択伐	－	－	－	－	－	－	－
	間伐	1,372	(2,083)	200,802	(2,083)	200,586	－	216
四国	総数	「238」 1,799	－	「43,672」 311,643	－	「43,227」 309,906	－	「446」 1,736
	皆伐	152	(34,174)	36,905	(33,939)	35,375	(235)	1,530
	複層	18	(34,174)	7,732	(33,939)	7,732	－	－
	択伐	－	－	20	－	20	－	－
	間伐	1,629	－	266,985	－	266,779	－	206
九州	総数	「627」 7,286	－	「67,759」 1,052,471	－	「63,322」 1,036,370	－	「4,436」 16,101
	皆伐	992	(335,064)	251,983	(334,122)	236,888	(942)	15,096
	複層	151	(332,650)	69,059	(331,708)	68,090	(942)	969
	択伐	－	－	－	－	－	－	－
	間伐	6,143	(2,414)	731,428	(2,414)	731,392	－	36

（別紙４）

様式

環境負荷低減のクロスコンプライアンス実施状況報告書

以下のア～エの取組について、実施状況を報告します。

ア　環境負荷低減に配慮したものを調達するよう努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・対象となる物品の輸送に当たり、燃料消費を少なくするよう検討する（もしくはそのような工夫を行っている配送業者と連携する）。	□	□
・対象となる物品の輸送に当たり、燃費効率の向上や温室効果ガスの過度な排出を防ぐ観点から、輸送車両の保守点検を適切に実施している。	□	□
・農林水産物や加工食品を使用する場合には、農薬等を適正に使用して（農薬の使用基準等を遵守して）作られたものを調達することに努めている。	□	□
・事務用品を使用する場合には、詰め替えや再利用可能なものを調達することに努めている。	□	□
・その他（　　）	／	／

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由
（　　）

イ　エネルギーの削減の観点から、オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状況の記録・保存や、不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組（照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等）の実施に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・事業実施時に消費する電気・ガス・ガソリン等のエネルギーについて、帳簿への記載や伝票の保存等により、使用量・使用料金の記録に努めている。	□	□

・事業実施時に使用するオフィスや車両・機械等について、不要な照明の消灯やエンジン停止に努めている。	□	□
・事業実施時に使用するオフィスや車両・機械等について、基準となる室温を決めたり、必要以上の冷暖房、保温を行わない等、適切な温度管理に努めている。	□	□
・事業実施時に使用する車両・機械等が効果的に機能を発揮できるよう、定期的な点検や破損があった場合は補修等に努めている。	□	□
・夏期のクールビズや冬期のウォームビズの実施に努めている。	□	□
・その他（　　）		

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由
（　　）

ウ　廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・事業実施時に使用する資材について、プラスチック資材から紙などの環境負荷が少ない資材に変更することを検討する。	□	□
・資源のリサイクルに努めている（リサイクル事業者に委託することも可）。	□	□
・事業実施時に使用するプラスチック資材を処分する場合に法令に従って適切に実施している。	□	□
・その他（　　）		

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由
（　　）

エ　みどり戦略の理解に努めるとともに、機械等を扱う場合は、機械の適切な整備及び管理並びに作業安全に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・「環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート解説書 －民間事業者・自治体等編－」にある記載内容を了知し、関係する事項について取り組むよう努める。	□	□

・事業者として独自の環境方針やビジョンなどの策定している、もしくは、策定を検討する。	□	□
・従業員等向けの環境や持続性確保に係る研修などを行っている、もしくは、実施を検討する。	□	□
・作業現場における、作業安全のためのルールや手順などをマニュアル等に整理する。また、定期的な研修などを実施するように努めている。	□	□
・資機材や作業機械・設備が異常な動作などを起こさないよう、定期的な点検や補修などに努めている。	□	□
・作業現場における作業空間内の工具や資材の整理などを行い、安全に作業を行えるスペースを確保する。	□	□
・労災保険等の補償措置を備えるよう努めている。	□	□
・その他（　　）		

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由
（　　）

（別添1）

閲覧申込書

申込日：令和　　年　　月　　日

1　会 社 名 ：

2　住　　所：

3　担当者名：

4　電話番号：

5　E-mail アドレス：

6　閲覧日時：　令和　　年　　月　　日

7　閲覧者氏名　１：
　　２：
　　３：

（別添２）

林野庁長官　○○　○○　様

機密保持誓約書

「令和７年度　森林管理局等事業統計書作成に係る職員向け解説書整備事業」に係る資料閲覧に当たり、下記の事項を厳守することを制約します。

記

１　農林水産省の情報セキュリティに関する規程等を遵守し、農林水産省が開示した情報（公知の情報を除く。）を本調達の目的以外に使用又は第三者に開示若しくは漏えいすることのないよう、必要な措置を講じます。

２　閲覧資料については、複製及び撮影を行いません。

３　本業務に係る調達の期間中及び終了後に関わらず、守秘義務を負います。

４　上記１～３に反して、情報を本調達の目的以外に使用又は第三者に開示若しくは漏えいした場合、法的な責任を負うものであることを確認し、これにより農林水産省が被った一切の損害を賠償します。また、その際には秘密保持に関する農林水産省の監査を受けることとし、誠実に対応します。

令和　　年　　月　　日

住　　所

会 社 名

代表者名